



中富地区社協だより



発行：中川富岡地区社会福祉協議会 発行責任者：会長 柳井洋 編集責任者：広報部会長 山口修 連絡先(0438)63-3888

中富地区敬老会を開催！



第22回となる「中富地区敬老会」が去る9月15日(月・敬老の日)13時から平川公民館で開催され、70歳以上の高齢者が来場されて演芸アトラクション等を楽しみました。そして紅白饅頭やお楽しみ抽選会の景品をお土産にして帰宅されました。

当日は、開会の後に中富地区社協・柳井洋会長および袖ヶ浦市社協・末吉幸夫事務局長のあいさつ、地区民生委員・児童委員、主任児童委員の紹介があり、その後金婚祝い招待者12組(当日3組欠席)の方々へ記念品の贈呈、来場者の最高齢男女の方々へ記念品の贈呈がありました。演芸の部は、元氣あふれる中川小学校3・4年生による中川ソランと詩の群読から演芸が始まり、在原徹校長先生の先生方やその他たくさんの方々の保護者や祖父母等の応援がありました。次に人権擁護委員の小倉正敬さんから人権についてのお話、勇壮な和太鼓演奏、グループ「ほんわか」の心に染みる透き通った愛唱歌、木更津かずさ連の賑やか



楽しい中富いきいき料理教室



第3回目の「中富いきいき料理教室」が去る10月24日(金)9時から富岡分館で参加者33名(うち男性3名)により実施されました。当日は、先ず市健康推進課の中山保健師より「膝や腰が痛い歩きにくい気になる身体の不調(ロコモティブシンドローム)につ

に楽しい木更津よさこいソラン等の演舞、地元中区の佐々木淡若さんの素晴らしい歌声の民謡や歌謡曲、さらにバンド「レッドサウンド」と佐々木さんとの生演奏のコラボ、最後は「レッドサウンド」の皆さんによる演奏で締めくくられました。閉会後に来場の高齢者の皆さんがお楽しみ景品を手にして会場を後にし、第22回目の敬老会が終了しました。「今年は敬老会へ個別案内がないなかで、皆さんへのお知らせに苦



労しながらの実施でしたが、例年どおり多くの皆さんにおいて頂き盛大に実施できました。関係の皆様には心より感謝を申し上げます。」と柳井会長の言葉でした。



袖ヶ浦市高齢者スポーツ大会

スポーツの秋となった去る10月16日(木)に臨海スポーツセンターで「袖ヶ浦市高齢者スポーツ大会」が開催されました。市内5地区に分かれた高齢者約520人が8種類の競技に出場してその覇を競い、参加者は高齢者スポーツ精神で一日を楽しんでいました。中富地区は、総勢92名の選手団で黄色の鉢巻を締めて優勝を目指して頑張りました。残念ながら得点424点で3位(優勝は平岡地区)でした。参加者は来年度の優勝を目指してセンターを後にされていました。お疲れ様でした。



424 中富地区

元気な地域の「ひまわり」

今年、敬老会へ来場された方で女性の最高齢者となった佐久間さんを「元気な地域の人」として紹介します。



佐久間静代さん(阿部)

佐久間さんは、大正生まれの90歳になりました。農家に生まれ、定年退職まで近くの種苗会社に勤務しました。現在は、

娘さん夫婦と三人暮らし。好き嫌いはなく、何でもよく食べ、そして笑うとても温厚な方です。好きな和裁をしたり、以前は東部老人クラブでグラウンドゴルフをやりましたが、クラブが消滅してできなくなったそうです。現在は家庭菜園を趣味として、畑に行っては青空の下で仲間とお茶をするのが楽しみな日課の一つになっていると話されていました。また、孫やひ孫の話題になると「かわいくてかわいくてしょうがない・・・」と言って目を細めるおばあちゃんの顔が印象的でした。ご近所には妹さんが住んでいるのでとても心強いと話されていました。

「地域福祉計画」の改定

市及び市社会福祉協議会で策定している現行の「地域福祉計画及び地域福祉活動計画」が今年度最終年度



たつて、地区懇談会が市内6地区で開催され、中富地区では6月28日(土)と7月12日(土)に平川公民館で行われました。この懇談会には地区社協から事業推進委員15名も参加し、地域の課題やその解決策について話し合いました。この懇談会の内容については、計画の案に反映されるものです。現在、計画の原案づくりを進めていて、12月にパブリックコメント募集をし、本年度中に完成の予定となっています。今後の袖ヶ浦市の地域福祉推進の指針となるもので地区社協のあり方や地域づくりが明確になるものです。

中富地区の話題



恒例の運動会が9月27日(土)に「えがおいっぱいゆめいっぱいありのままの自分でレッツトライ!」のテーマの下で開催されました。

園児たちは、保護者や地域の方々の暖かい声援をたくさん受けて、年少・年長の仲よし競技

にあたり、次期計画を策定する作業が進められています。改定に当



に着け、トリックオアトリート(お菓子をくれないといたずらしちゃうぞ)と声をかけキャンディをゲットしたり、ハロウィンの曲に合わせて仮装パレードで踊ったり、記念撮影等大変な盛り上がりでした。

創立50周年に! (平川中学校)



地域の中学校である平川中学校は、昭和41年4月1日に中川中学校と平岡中学校を統合して開校され、平成27年度に創立50周年を迎えることになりました。この平川中学校では50周年を迎えるにあたって、創立50周年記念事業を実施することになり、去る8月9日に記念事業実行委員会設立総会で組織が作られ、森義臣委員長の下で記念事業が進められることとなりました。主な記念



事業として、タイムカプセル開封(20周年記念事業で埋設されたもの)、記念植樹、記念式典、記念誌発行等が予定されています。実行委員会では本事業の趣旨をご理解いただき、ご支援・ご協力を地域並びに関係各位にお願いすることとしていきます。我が地域の子ども達が学び、巣立った中学校に深く想いをいたし、悠久の時を実感し、記念事業に「地域ぐるみ」での参加を期待します。

平川公民館まつり開催



晩秋の横田で第28回平川公民館まつりが去る11月8日(土)9日(日)の二日間、平川公民館において公民館まつり実行委員会により開催されました。

生涯学習、社会教育そして地域づくりの拠点として地域に親しまれている公民館には、大勢の地域の人々が来館して「まつり」は盛大に開催されました。おまつり広場、作品展、芸能・サークル発表会、各種講習会、その他展示等と盛りだくさんのイベントとなり、地域の人々の交流の場が広がっていました。おまつり広場ではミニバスに子供連れの親子が楽しそうに乗って走り、その他の模擬店や即売会等にも長い列ができて賑わっていました。

